

かけはし通信



地域ぐるみでこどもたちの笑顔を!!

8月5日に藤枝市コミュニティ・スクール研修会が青島北地区交流センターで開催されました。各中学校区のコミュニティ・スクールディレクター12名と各小中学校の小中一貫コーディネーター(教員)27名が参加しました。第3期藤枝市小中一貫教育推進計画の重点施策にも「縦の小中一貫教育の深化～幼保こ小の連携～」が位置付けられ、この研修会でも、**幼保こ小中の連携の大切さを改めて確認**しました。



グループ協議では、現在取り組んでいることを整理し、今後、幼保こ小中連携が充実するためのアイデアを出し合いました。

「コミュニティ・スクールディレクター」とは？

藤枝市の小中学校では、地域や保護者が一緒になってこどもたちを見守る「コミュニティ・スクール」という取組が進められています。地域の方が授業に協力したり、登下校を見守ってくれたり、こどもたちを地域全体で支える仕組みです。

地域と学校をつなぐパイプ役をしているのが、「コミュニティ・スクールディレクター」です。



幼稚園・保育所・こども園との交流については、ピンクの付箋で整理をしました。「小学校1年生と年長の交流」「年長の学校探検」「中学生の保育実習」「中学生の小学校や園への読み聞かせボランティア」「中学生の園の行事(夏祭り等)へのボランティア参加」など、今ある活動を大切に、そして、無理なくできることから広がっていくといいですね。

「ふじえだ かけはし BOOK」にも「地域は、豊かな遊びや学びの応援団に」「家庭は、こどもの安心の基地、安全な場所に」とありますが、藤枝市には、こどもたちを地域全体で見守ってくださる仕組みがあるので、安心ですね。

